



日本で一番質の高い
“食” & “ホスピタリティ”グループへ

第68期 中間報告書
2016年1月1日 ▶ 2016年6月30日

ROYAL

ロイヤルホールディングス株式会社

証券コード ● 8179

ロイヤル経営基本理念

ロイヤルは食品企業である。
 お客様から代金を頂くからには、
 一、食品は美味しくなければならない。
 一、調理・製造も取扱いも衛生的でなければならない。
 一、サービス販売は、お客様の心を楽しませ、
 社会を明るくするものでなければならない。
 以上のつとめを果たす報酬として、正当な利潤を得られ、
 ロイヤルも私共も永遠に繁栄する。

1956年(昭和31年)6月制定

株主の皆様には、日頃より格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。また、このたびの熊本地震により被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

「第68期 中間報告書」をお届けするにあたり、ごあいさつ申し上げます。

当社グループを取り巻く環境は、賃金・雇用環境の改善が続く中、引き続き緩やかな景気回復基調にあるものの、海外経済の不確実性や熊本地震などを背景とした訪日外国人の消費拡大の鈍化、企業収益の改善の減速に加え、生活物価の上昇等による消費者の生活防衛意識の高まりもあり、景気は引き続き足踏み状態にあるといえます。

このような環境の下、当社グループでは、日本で一番質の高い“食”&“ホスピタリティ”グループを目指し、中期経営計画「Fly to 2017」を策定いたしました。その2年目となる平成28年度におきましても、持続的成長を目指し、「ホスピタリティビジネスの産業化モデル」を構築することを目標として、引き続き経営基本理念の実践に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



菊地 唯夫 黒須 康宏

平成28年9月
 代表取締役会長(兼)CEO 菊地 唯夫
 代表取締役社長(兼)COO 黒須 康宏

連結決算ハイライト(中間)



当社グループでは、「日本で一番質の高い“食”&“ホスピタリティ”グループ」の実現に向け、平成26年11月に平成29年を最終年度とする中期経営計画「Fly to 2017」を策定いたしました。

その2年目となる当連結会計年度におきましては、当社グループが有する多様な事業においてそれぞれの強みと事業環境を踏まえ、「付加価値向上」「新規市場創出」「効率性向上」という三つの視点から生産性の向上を図ると同時に顧客満足度の向上を図るべく、各種経営施策を着実に進めております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は

64,246百万円（前年同期比+3.5%）、営業利益は1,492百万円（前年同期比△7.2%）、経常利益は1,541百万円（前年同期比△9.0%）となりました。また、特別損益として受取補償金95百万円を特別利益に、固定資産除売却損249百万円など総額295百万円を特別損失に計上いたしました。前第2四半期連結累計期間に比べ、特別利益は292百万円減少し、特別損失は63百万円増加しており、当第2四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益は583百万円（前年同期比△45.3%）となりました。

● 事業別の概況

外食事業

売上高 30,487百万円

- 「ロイヤルホスト」は、既存店舗への追加投資を継続するとともに、フレッシュ野菜の国産化、日本各地の食材をひと手間かけた料理で紹介する“Good JAPAN”フェアなど品質重視のメニューを展開
- 「天丼てんや」は、長野県、岐阜県に初出店し、国内外フランチャイズを含め10店舗を出店。「のどぐる」や「桜海老」など旬の素材を使った天丼をはじめ、ローストビーフ天丼など幅広い顧客層への商品を投入し顧客満足度の向上を図る

コントラクト事業

売上高 16,089百万円

- 法人からの委託などにより、空港ターミナルビル、高速道路サービスエリア、大型商業施設、オフィスビル、医療介護施設などにおいて多種多様な飲食施設を展開
- 上里SAの高速道路店が大型改装を実施し、レストラン・フードコート・売店コーナーがグランドオープン
- 前期より営業受託した店舗および空港既存施設の利用者増加により増収

機内食事業

売上高 3,958百万円

- 7月に機内食事業の2社が合併し、ロイヤルインフライトケイタリング株式会社に商号変更
- 熊本地震により海外からの渡航者が減少したが、昨年7月の沖縄工場の稼働開始により増収

ホテル事業

売上高 11,835百万円

- 5月に「リッチモンドホテル名古屋新幹線口」を開業
- 一時的に熊本地震の影響はみられたが、リッチモンドクラブ会員を中心に既存ホテルが堅調に推移

食品事業

売上高 5,136百万円

- 外食インフラ機能として主に外食事業とコントラクト事業に対する食品製造、購買、物流事業のほか、一部グループ外企業向け製品を製造
- 主にグループ外企業向けの食品製造が増加

(注) ここまでに記載の売上高には、その他の営業収入を含めております。

中期経営計画「Fly to 2017」

当社グループでは「ロイヤルグループ経営ビジョン2020」において『「お客様の満足」を最大の目標とし、時代の変化にしなやかに対応する日本で一番質の高い“食”&“ホスピタリティ”グループを目指す』というグループビジョンを掲げております。

中期経営計画「Fly to 2017」の2年目である今期は、「ホスピタリティビジネスの産業化」を柱とした「経営ビジョン」の実現に向けて、当社グループの多岐にわたる事業・業態の特性を見極めながら、顧客満足度の向上、生産性向上に向けた施策を着実に進め、持続的成長を目指してまいります。

〔基本方針と戦略骨子〕



当社グループでは、平成28年4月14日の熊本地震の余震発生直後より、お客様や従業員の安全の確保を最優先としながら、東日本大震災の教訓を受けて物資と物流の手配を行い、熊本市内の拠点において飲料水や軽食、休息場所の提供など可能な限りの支援活動を実施いたしました。当社グループでは、高速道路店を含め5拠点が震災の影響を受けましたが、地域になくなくてはならない店としての役割を全うすべく、店舗の復旧活動に全力を挙げ、4月中にはロイヤルホスト、カウボーイ家族の計3店舗、続いて北熊本サービスエリアの売店、フードコート、そしてリッチモンドホテルが順次営業を再開いたしました。復興に向けた支援活動といたしましては、支援物資の提供、全国各拠点における義援金の募金活動などに加えて、被災地における活動にも取り組んでおり、地震直後の4月18日に熊本市内の中学校で自衛隊とともに約1,000食の炊き出しの支援を行い、6月13日から17日まで熊本県益城町の避難施設においては、のべ300名超のメンバーとともに1日約1,000食、合計約5,000食超の夕食をご提供する炊き出しを実施いたしました。当社グループといたしましては、被災地の復旧・復興の一助となるべく、“食”&“ホスピタリティ”企業の一員として、今後も継続的な支援活動に取り組んでまいります。



天丼てんや 新たな地域へも続々と出店

天丼・天ぷらチェーン「てんや」では、新たな地域への出店として4月に長野県、5月に岐阜県にフランチャイズ店を出店し、上期に計10店舗をオープンしました。また4月にオープンした千葉ニュータウン店では、2年前から構想をスタートしていた、「シニアにやさしい」をテーマとした初のドライブスルーを設置。てんやの品質をお待たせせずに提供できる仕組みをつくり、お持ち帰りのニーズにもしっかりと応えてまいります。

メニューでは「桜海老」や「のどぐろ」、「空豆」など季節を感じていただける天丼をはじめ、「ハンバーグ天丼」「ローストビーフ天丼」といった肉天丼シリーズや「ちょい飲みメニュー」など新たな顧客層へのアプローチを行っています。また、天ぷら油はカラッととした油切れの良さと軽い食感、コレステロール0(ゼロ)が特徴の、揚げ物の吸油量を抑えたヘルシーオフ製法の天ぷら油に変更しました。今後も「あなたの街のてんやです。」をモットーに、地域の皆様に愛される店舗運営を目指してまいります。



ロイヤルホスト フレッシュ野菜の国産化など質の高さを追求

「京都・丹波・若狭おいしさ味めぐり」、「長崎・天草食散歩」と、日本各地の美味しい食材をコックがひと手間かけたロイヤルホストらしい料理としてご紹介する「Good JAPAN」シリーズは第6弾と回を重ね、引き続き好評をいただいております。4月に実施したグランドメニュー改訂では、フレッシュ野菜を全て国産に切り替えるなど食材の品質向上を図るとともに、2012年から進めている新たな厨房機器の導入を順次進め、店内での調理作業の質の向上と安定を図っています。ロイヤルホストはお客様のさまざまな利用動機に応える、地域に愛されるレストランとして新しい価値の創造にむけて進化し続けています。



リッチモンドホテル JCSI(日本版顧客満足度指数)第1位

2027年のリニア中央新幹線開業にむけて新たな街づくりが進む名古屋に、直営36店舗目となるリッチモンドホテル名古屋新幹線口を開業しました。落ち着いた空間とご当地メニューが楽しめる朝食ビュッフェなどがビジネス利用の方々を中心にご支持いただいています。また、2016年度JCSIの「ビジネスホテル部門」において、2年連続の顧客満足第1位に選ばれました。ホテルのスタッフを中心としたCS向上委員会など、お客様にご満足いただける取り組みを進め、「ひとと自然にやさしい、常にお客様のために進化するホテル」を目指してまいります。



■ 四半期連結財務諸表 (要旨)

四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前期末	当第2四半期	
	H27.12.31 現在	連結会計期間末 H28.6.30 現在	
資産の部	流動資産	17,429	14,548
	固定資産	73,483	74,663
	有形固定資産	46,649	49,061
	無形固定資産	619	658
	投資その他の資産	26,213	24,943
資産合計	90,912	89,212	
負債及び純資産の部	流動負債	17,254	14,738
	固定負債	27,023	28,910
	負債合計	44,278	43,648
	株主資本	43,688	43,482
	資本金	13,676	13,676
	資本剰余金	23,499	23,486
	利益剰余金	9,740	9,546
	自己株式	△ 3,227	△ 3,227
	その他の包括利益累計額	2,157	1,340
	非支配株主持分	787	740
	純資産合計	46,634	45,563
	負債・純資産合計	90,912	89,212

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期	当第2四半期
	連結累計期間 H27.1.1 ▶ H27.6.30	連結累計期間 H28.1.1 ▶ H28.6.30
売上高	60,526	62,640
売上原価	19,738	20,235
売上総利益	40,788	42,404
その他の営業収入	1,536	1,606
営業総利益	42,324	44,010
販売費及び一般管理費	40,715	42,518
営業利益	1,609	1,492
営業外収益	375	410
営業外費用	291	361
経常利益	1,693	1,541
特別利益	387	95
特別損失	232	295
税金等調整前四半期純利益	1,848	1,341
法人税等	742	731
四半期純利益	1,106	610
非支配株主に帰属する四半期純利益	37	26
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,068	583

上里サービスエリア店がグランドオープン

2015年より改装を進めてきた関越自動車道上り線、上里サービスエリアのレストラン、フードコート、ショッピングコーナーなどの全ての改修工事が完了し、4月にグランドオープンしました。地元の方も徒歩で入れる立地でもあり、地域性の充実にこだわった「ドラマチック上里」をテーマに、地元埼玉だけではなく隣接する新潟・長野・群馬の食材や特産品を揃えています。洋食、和食、らーめん、パン、天丼てんや、デザートなどさまざまな業態を揃え、関東圏における最新のサービスエリアとして、各方面からのお客様にご満足いただける店づくりを進めています。



ロイヤルインフライトケイタリング株式会社誕生

創業の事業である機内食事業において株式会社関西インフライトケイタリングと福岡インフライトケイタリング株式会社が合併し、この7月に「ロイヤルインフライトケイタリング株式会社」として新たなスタートを切りました。両社を合併することで共通機能の集約による効率化や購買力向上など事業基盤の強化を進め、更なる成長を図ってまいります。

〈品質やオペレーションを評価され各賞受賞〉

- ユナイテッド航空
[Quality First Crystal Award 2015]1位(関西工場)
- 香港ドラゴン航空
[Best Caterer 2015]Gold Winner受賞(福岡工場)
- 中華航空
[Best Caterer Award 2015]受賞(福岡工場)



四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

科 目	前第2四半期	当第2四半期
	連結累計期間 H27.1.1 ▶ H27.6.30	連結累計期間 H28.1.1 ▶ H28.6.30
営業活動による キャッシュ・フロー	3,212	3,742
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 3,954	△ 3,244
財務活動による キャッシュ・フロー	772	△ 1,211
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	30	△ 713
現金及び現金同等物の 期首残高	4,736	4,467
現金及び現金同等物の 四半期末残高	4,767	3,753

伝統のスイートポテトに新商品誕生

ロイヤル株式会社は、「福岡生まれの洋菓子」として60年以上愛されている「ロイヤルのスイートポテト」と同様、鹿児島産長島町のブランド芋「長島紅美人」を使用した、さつま芋の自然な甘さを感じられる「ロイヤルのスイートポテトプリン」と、ヤマサ醤油の黒蜜風醤油を使用して職人が手作業で焼き上げるふんわりとした食感と醤油の香ばしい風味が楽しめる「醤油バウムクーヘン」を、4月よりロイヤルグループ各店舗で順次、販売を開始しました。当社グループの各事業のインフラ機能を担うロイヤル株式会社は、昨年は福岡工場、今年は東京工場と生産性向上のための大規模な改装を実施し、グループ内はもちろん、質の高い食品を製造してグループ外向けにも販売を拡大してまいります。



会社の概況

● 会社概要 (平成28年6月30日現在)

会 社 名	ロイヤルホールディングス株式会社 (英文名 ROYAL HOLDINGS Co., Ltd.)
設 立	昭和25年4月
資 本 金	13,676,179,700円
従 業 員 数	連結 2,624名
東 京 本 部	東京都世田谷区桜新町一丁目34番6号
本 社	福岡県福岡市博多区那珂三丁目28番5号
事 業 内 容	グループの経営を統括・管理する 純粋持株会社

● 役 員 (平成28年6月30日現在)

取締役

代表取締役会長(兼)CEO	菊 地 唯 夫
代表取締役社長(兼)COO	黒 須 康 宏
専 務 取 締 役	矢 崎 精 二
常 務 取 締 役	野々村 彰 人
取 締 役	木 村 公 篤
取 締 役	貴 堂 聡
取 締 役 相 談 役	富 永 真 理

監査等委員

常 勤 監 査 等 委 員	浦 一 馬
監査等委員 (社外取締役)	久保田 康 史
監査等委員 (社外取締役)	渡 辺 佳 夫
監査等委員 (社外取締役)	高 峰 正 雄

株主優待制度 詳細は <http://www.royal-holdings.co.jp/ir/stockholder/>

対 象	毎年6月末および12月末現在の株主名簿に記載された100株以上ご所有の株主の皆様。
内 容	6月末の株主様には9月中旬に、12月末の株主様には3月下旬にそれぞれ、株式数に応じて「株主ご優待券」をご送付申し上げます。

ご所有株式数	株主ご優待券
100株以上500株未満	年間 1,000円分 (500円×1枚×2回)
500株以上1,000株未満	年間 10,000円分 (500円×10枚×2回)
1,000株以上 (一律)	年間 24,000円分 (500円×24枚×2回)

株式の情報

平成28年6月30日現在

Shareholders Information

株式の状況

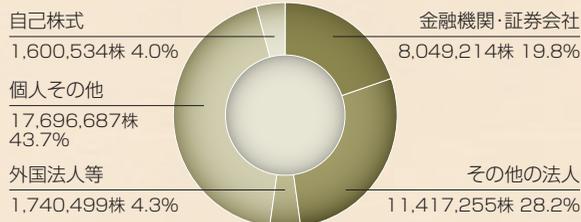
発行可能株式総数	120,000,000株
発行済株式の総数	40,504,189株
単元株式数	100株
株主数	22,501名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
キルロイ興産株式会社	2,474	6.36
公益財団法人江頭ホスピタリティ 事業振興財団	2,452	6.30
株式会社ダスキン	1,400	3.60
コカ・コーラウエスト株式会社	962	2.47
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	958	2.46
株式会社西日本シティ銀行	955	2.46
株式会社福岡銀行	833	2.14
日本生命保険相互会社	803	2.06
ハンナン株式会社	692	1.78
株式会社三越伊勢丹	681	1.75

(注) 当社は、自己株式1,600千株を所有しております。上記の持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会 毎年3月開催
基準日 定時株主総会 毎年12月31日
期末配当金 毎年12月31日

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 ☎0120-782-031

公告方法 当社のホームページに掲載いたします。
(<http://www.royal-holdings.co.jp/>)

上場取引所 東京証券取引所第一部
福岡証券取引所

株式に関する各種手続き

住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取請求・買増請求等の各種お手続きは、口座を開設されている証券会社宛にお願いいたします。

証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

※平成22年5月1日に株式会社テン コーポレーションとの株式交換に伴う株式の割当により当社株主となられた株主様のうち、証券会社に口座を開設されていない株主様のご連絡先は、以下のとおりです。

特別口座の口座管理機関 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒168-8507
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先 ☎0120-288-324

IRサイトのご案内

アドレス <http://www.royal-holdings.co.jp/ir/>

ロイヤルホールディングス株式会社

〒154-8584 東京都世田谷区桜新町一丁目34番6号
電話：(03) 5707-8830



この冊子は、環境に優しい植物油インキを使用して印刷しています